



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月5日

上場会社名 昭和鉄工株式会社 上場取引所 福
 コード番号 5953 URL http://www.showa.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福田俊仁
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 一木和弘 (TEL) 092-651-2933
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	4,696	△4.9	△150	—	△124	—	△140	—
27年3月期第2四半期	4,939	5.7	△300	—	△286	—	△276	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 △193百万円(—%) 27年3月期第2四半期 △11百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	△17.18	—
27年3月期第2四半期	△32.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	14,670	3,636	24.8
27年3月期	15,197	3,871	25.5

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 3,636百万円 27年3月期 3,871百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,200	△0.0	200	—	220	996.0	70	△27.8	8.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	8,970,000株	27年3月期	8,970,000株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	819,662株	27年3月期	818,717株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	8,150,710株	27年3月期2Q	8,431,968株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第 2 四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第 2 四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第 2 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安局面の定着や、政府・日銀による経済政策等を背景に企業収益の改善基調が続いています。一方で、4～6 月期実質 GDP が個人消費や民間設備投資の減少による 3 四半期ぶりのマイナス及び 8 月の消費者物価指数が 28 ヶ月ぶりにマイナスに転じるなど、踊り場局面に差し掛かっています。また、中国をはじめとする新興国の経済減速懸念が国内景気を下押しするリスクとなっており、景気の先行きは不透明感を強めています。

このような情勢の中で当社グループは、経営体制の変更を行い、当社の事業領域から離れた事業進出を中断するとともに、新たに「本業回帰で筋肉質な企業体質を実現する」を掲げ、平成 31 年度までに連結売上高 120 億円以上、安定的に連結売上高営業利益率 3% 以上を実現するため「事業の選択と集中」「差別化新製品の開発」「固定費の最小化」に取り組んでまいりました。

その結果、当第 2 四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、46 億 9 千 6 百万円（前年同期比 4.9% 減）となりました。

損益面につきましては、営業損失 1 億 5 千万円（前年同期は営業損失 3 億円）、経常損失 1 億 2 千 4 百万円（前年同期は経常損失 2 億 8 千 6 百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は 1 億 4 千万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失 2 億 7 千 6 百万円）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

・機器装置事業

機器装置事業につきましては、熱源機器は市場環境変化への対応遅れにより低調に推移しました。空調機器は、「エアハンドリングユニット」や「ヒートポンプ式外調機」が拡販努力により、大幅に売上を伸ばすことができました。環境機器は電気ヒーターを中心に順調に推移しました。サーモデバイス機器は出荷時期が後半に集中するため、低調に推移しましたが、後半取り戻す予定です。

この結果、当事業の売上高は 28 億 6 千 9 百万円（前年同期比 11.6% 減）となりました。

・素形材加工事業

素形材加工事業につきましては、鋳造品はガスタービン関連部品の出荷遅れ等により低調に推移しましたが、景観製品は橋梁用防護柵の伸びにより順調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は 8 億 4 千 7 百万円（前年同期比 22.6% 増）となりました。

・サービスエンジニアリング事業

サービスエンジニアリング事業につきましては、有料サービスの売上減少により低調に推移しました。

この結果、当事業の売上高は 9 億 7 千 9 百万円（前年同期比 2.3% 減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債・純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ5億2千6百万円減少し、146億7千万円となりました。主な要因は、たな卸資産（商品及び製品、仕掛品、原材料）が4億5千8百万円、流動資産「その他」が1億2千4百万円増加した一方、売上債権（受取手形及び売掛金、電子記録債権）が6億8千4百万円、投資有価証券が3億4百万円、有価証券が9千8百万円減少したことによるものであります。

負債については、前連結会計年度末に比べ2億9千1百万円減少し、110億3千4百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が1億4千7百万円、退職給付に係る負債が4千9百万円減少したことによるものであります。

純資産については、前連結会計年度末に比べ2億3千4百万円減少し、36億3千6百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が1億8千万円減少したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ2千2百万円増加し24億6千3百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

・営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果支出した資金は7千4百万円（前年同期は6千4百万円の獲得）となりました。これは主に、売上債権の減少額6億8千4百万円による増加と税金等調整前四半期純損失1億2千4百万円、仕入債務の減少額1億4千7百万円、たな卸資産の増加額4億5千8百万円による減少であります。

・投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果獲得した資金は1億5千6百万円（前年同期は7千万円の支出）となりました。これは主に、有価証券の償還による収入3億円による増加と有形及び無形固定資産の取得による支出1億6千6百万円による減少であります。

・財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果支出した資金は5千8百万円（前年同期は5千8百万円の支出）となりました。これは主に、配当金の支払額4千万円による減少であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期通期の連結業績予想につきましては、熱源機器（ボイラ・ヒータ）が期待していたほどの伸びが見込まれない為、平成27年5月13日に公表しておりました連結売上高11,500百万円を11,200百万円に変更しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結累計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,506	2,556
受取手形及び売掛金	3,495	2,853
電子記録債権	211	169
有価証券	600	501
商品及び製品	194	308
仕掛品	692	1,040
原材料	326	323
その他	99	224
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	8,124	7,973
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,581	1,581
その他(純額)	991	964
有形固定資産合計	2,572	2,545
無形固定資産	41	36
投資その他の資産		
投資有価証券	3,854	3,549
その他	631	591
貸倒引当金	△26	△26
投資その他の資産合計	4,459	4,114
固定資産合計	7,073	6,697
資産合計	15,197	14,670
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,642	2,495
短期借入金	4,420	4,120
未払法人税等	17	25
その他	989	935
流動負債合計	8,069	7,576
固定負債		
長期借入金	870	1,160
退職給付に係る負債	1,832	1,782
繰延税金負債	187	155
その他	367	359
固定負債合計	3,256	3,457
負債合計	11,326	11,034

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年 3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年 9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,641	1,641
資本剰余金	1,225	1,225
利益剰余金	605	424
自己株式	△146	△146
株主資本合計	3,325	3,144
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	550	463
為替換算調整勘定	219	226
退職給付に係る調整累計額	△225	△198
その他の包括利益累計額合計	545	491
純資産合計	3,871	3,636
負債純資産合計	15,197	14,670

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第 2 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 9 月30日)
売上高	4,939	4,696
売上原価	3,971	3,761
売上総利益	968	934
販売費及び一般管理費	1,269	1,084
営業損失(△)	△300	△150
営業外収益		
受取利息	9	9
受取配当金	34	27
持分法による投資利益	-	3
その他	17	28
営業外収益合計	61	69
営業外費用		
支払利息	39	37
持分法による投資損失	0	-
その他	6	6
営業外費用合計	47	43
経常損失(△)	△286	△124
特別利益		
固定資産売却益	22	-
特別利益合計	22	-
税金等調整前四半期純損失(△)	△264	△124
法人税、住民税及び事業税	12	15
法人税等合計	12	15
四半期純損失(△)	△276	△140
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△276	△140

四半期連結包括利益計算書
第 2 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成27年 4 月 1 日 至 平成27年 9 月30日)
四半期純損失 (△)	△276	△140
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	238	△87
退職給付に係る調整額	31	26
持分法適用会社に対する持分相当額	△4	6
その他の包括利益合計	265	△53
四半期包括利益	△11	△193
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△11	△193
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△264	△124
減価償却費	68	75
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	△0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	11	△22
受取利息及び受取配当金	△43	△36
支払利息	39	37
持分法による投資損益(△は益)	0	△3
固定資産売却損益(△は益)	△22	-
売上債権の増減額(△は増加)	1,256	684
たな卸資産の増減額(△は増加)	△470	△458
仕入債務の増減額(△は減少)	△24	△147
その他の資産・負債の増減額	△453	△81
その他	0	△7
小計	98	△85
利息及び配当金の受取額	50	37
利息の支払額	△38	△36
法人税等の支払額	△45	△10
法人税等の還付額	-	20
営業活動によるキャッシュ・フロー	64	△74
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△43	△29
定期預金の払戻による収入	4	29
有価証券の償還による収入	-	300
有形及び無形固定資産の取得による支出	△56	△166
有形及び無形固定資産の売却による収入	25	19
その他	△0	4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△70	156
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	300	400
長期借入金の返済による支出	△310	△410
配当金の支払額	△42	△40
自己株式の取得による支出	△0	△0
その他	△6	△7
財務活動によるキャッシュ・フロー	△58	△58
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△64	22
現金及び現金同等物の期首残高	3,042	2,440
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,977	2,463

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第 2 四半期連結累計期間(自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 9 月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	機器装置事業	素形材加工事業	サービスエンジニアリング事業	
売上高				
外部顧客への売上高	3,246	691	1,001	4,939
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4	5	76	86
計	3,251	696	1,077	5,025
セグメント損失(△)	△169	△101	△29	△300

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△300
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△300

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計
	機器装置事業	素形材加工事業	サービスエンジニアリング事業	
売上高				
外部顧客への売上高	2,869	847	979	4,696
セグメント間の内部売上高又は振替高	7	9	27	44
計	2,877	856	1,006	4,741
セグメント損失(△)	△93	△49	△6	△150

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△150
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△150

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。